

まど・みちおさんインタビュー

(2000年6月5日、8月2日)

童謡「ぞうさん」「やぎさん ゆうびん」「ふしぎな ポケット」「一ねん
せいになったら」などで知られる、詩人のまど・みちおさん(当時 90
歳)。まどさんのもとを、詩人で、につけん教育出版社代表の小野忠男
さん(当時 54歳)が、詩人の尾上尚子さんと共に訪ねました。



まど・みちおさん 小野忠男さん
(2000年6月5日)



小野忠男さん、まど・みちおさん
(2000年8月2日)

まど・みちおさん、詩について語る

* なるべく人が使わない言葉を使いたい。新しい擬音で、しかも、しつ
くりいくものが良い。人によって感じ方が違うから、普通とは違ったも
のを使いたい。

* ある学校の先生の集まりで、先生から私の詩について「こんなのダメ
だ」と言われたことがある。「今まで使われたことがないから」という
理由で「違和感を感じてダメだ」と言われた。しかし、私は今まで使わ

れた言葉以外にどんな表現があるのかをいつも考えている。

* 誰も考えたことのないものを表現したい。それを感じ取ってくれる人がいたら嬉しい。例えば、「黄色」を題材にした詩があつて、「なのはな」や「レモン」の黄色の他に、「ひばりのおしゃべり」を加えた。つまり3つのうち2つはみんなの知っているものを入れて、私の感じた新しいものを1つ加えている。「黄」という題で、私と同じように感じてくれると嬉しい。

黄

と なづけられた

きひんある そのいろは

たとえば

天からの ひばりのおしゃべりに

みわたす なのはなに

てのひらの レモンに

ほこりたかく いきづいている (以下略)

* 10 人中 10 人で感じ方が違う。カッコウの鳴き声も「カッコー」だけでは飽きてしまう。物足りない。人間は同じことをすると飽きる。どんな 好きなものでも、10 日、1 ヶ月も食べ続けると嫌になってしまう。五感

に対する刺激もいつも同じだと嫌になってしまう。飽きるという感覚を他の動物も持っている。飽きるという感覚を持たせてもらっているということは、意味のある素晴らしいことだと思う。

まど・みちおさん、詩とボケについて語る

* 子どもの頃は、音楽と図工が甲だった。他はみんなダメだった。雑誌『赤い鳥』も読んだこともない。

* 自分もだんだんボケてきて、靴を履こうとしたら履けないのでどうしたのだろうと思ったら、右足を左の靴に入れようとしていた。また、靴下が一足ないのでベッドの下など部屋中探し回ったが、見つからないのでおかしいと思ったら二足重ねて履いていた。

* ドアに指をはさんでバンドエイドをつけたが、間違えて左右別の手の指にバンドエイドをつけていた。医者から「赤っぽい動脈はバンドエイドをつけてはいけない、つけて良いのは黒っぽい静脈だ」と聞いた。挟んだ指は動脈の方だったので、間違えたのがかえって良かった。

* 99歳の父親が死に際に「今日は何日だ？」と聞き、それが父親の最後の言葉であった。今私は「今日は何日だ？」としょっちゅう家族の者に聞いている。父親との遺伝の強さを感じた。父親は風邪をひかなければ

99 歳よりもっと長生きしたと思う。

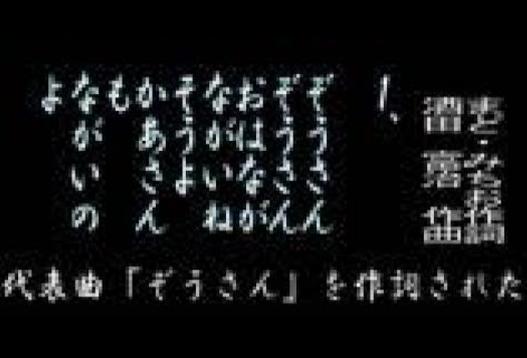
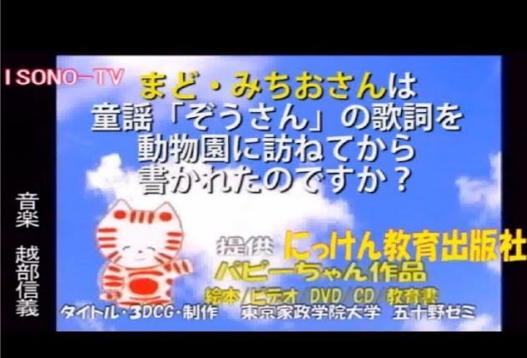
* 落とした物を拾おうと思って、おでこをテーブルにぶつけた時は、頭を金槌で殴られたような気がした。金槌に叩かれたらテーブルがへこむけれど、頭にはこぶができて膨らんだ。

* 詩も私と同じでマイナスをプラスにするもの。ボケのおかげで家庭内に笑いが起こる。「サッチャン」の詩で有名な詩人の阪田寛夫さんは、勉強のしすぎで頭の固い人だと思ったが、ガスを消し忘れることがあったりして面白い人だ。

* 私は詩人といっても、駄作があまりにも多い。書いては直し、書いては直し…。詩を書いて本になった後でも直したくなることがある。

* 天才的な詩人だったら一回で完成ということがあるかもしれないが、私の場合、こんな状態だからいつも詩を書こうという気持ちがいつまでも持てるのだろう、と思う。

↓↓ まどみちおさん関連の動画は以下の通りです ↓↓

1	<p><u>まど・みちおさん「ぞうさん」はじめは、 團伊玖磨ではなく、酒田富治が作曲。 まど・みちお×小野忠男 映像制作： 五十野惇（元NHKディレクター、元東京家政学院大学教授） - YouTube</u></p>	 <p>よなもかそなおぞぞ、 が あうがはうう、 い さよいなささ、 の ん ねがん</p> <p>酒田富治 作曲 代表曲「ぞうさん」を制作された</p>
2	<p><u>まど・みちおさん「ぞうさん」誕生 の真実。まど・みちお×小野忠男 映像制作：五十野惇（元NHK ディレクター、元東京家政学院大学 教授） - YouTube</u></p>	 <p>ISONO-TV まど・みちおさんは 童謡「ぞうさん」の歌詞を 動物園に訪ねてから 書かれたのですか？</p> <p>音楽 越部信義 提供 につけん教育出版社 パピーちゃん作品 絵本/ビデオ/DVD/CD/教育書 タイトル・3DCG・制作 東京家政学院大学 五十野惇</p>
3	<p><u>まど・みちおさんの半生。山口県徳山 市（現在の周南市）時代から台湾時 代。まど・みちお×小野忠男 映像制作：五十野惇（元NHKディ レクター、元東京家政学院大学教 授） - YouTube</u></p>	 <p>まど・みちおさんの半世紀 山口県徳山市 （現在の周南市） から 台湾時代</p> <p>音楽 越部信義 提供 につけん教育出版社 パピーちゃん作品 絵本/ビデオ/DVD/CD/教育書 タイトル・3DCG・制作 東京家政学院大学 五十野惇</p>
4	<p><u>まど・みちおさんの創作力。まど・みちお さんは絵や詩をどのようにつくられるの ですか？まど・みちお×小野忠男 映像制作：五十野惇（元NHKディレ クター、元東京家政学院大学教授） - YouTube</u></p>	 <p>まど・みちおさんの創作力 まど・みちおさんは 絵や詩をどのように つくられたのですか？</p> <p>音楽 越部信義 提供 につけん教育出版社 パピーちゃん作品 絵本/ビデオ/DVD/CD/教育書 タイトル・3DCG・制作 東京家政学院大学 五十野惇</p>

<p>5</p>	<p><u>まど・みちおさんの健康法と発想法。</u> <u>聞き手「詩人・につけん教育出版社</u> <u>代表：小野忠男さん」まど・みちお×</u> <u>小野忠男 映像制作：五十野惇</u> <u>(元NHKディレクター、元東京家政</u> <u>学院大学教授) - YouTube</u></p>	
<p>6</p>	<p><u>「ふたあつ」(まど・みちお/作詩 山口保</u> <u>治/作曲)。小野忠男、五十野惇、</u> <u>片山有美子、星野梨沙、小野節子、</u> <u>永井雄大、岸田玖実子、喜多唯千香</u> <u>喜多貴子、喜多皓美、喜多美琴、</u> <u>北川明奈、平井香穂、福田菊子</u> <u>- YouTube</u></p>	
<p>7</p>	<p><u>「ふたあつ」(まど・みちお/作詩 山口保</u> <u>治/作曲)。小野忠男、五十野惇、片</u> <u>山有美子、星野梨沙、小野節子、永</u> <u>井雄大、岸田玖実子、喜多唯千香、</u> <u>喜多貴子、喜多皓美、喜多美琴、北</u> <u>川明奈、福田菊子、本間藍子 -</u> <u>YouTube</u></p>	